

	ねらい	主な学習活動	評価基準	子どものつまずきに対する 主な指導・援助
1	情景を思い浮かべながら、その様子に合った歌声やテンポで主旋律を歌うことができる。	<p><b>もみじ</b></p> <p>もみじのイメージを思い浮かべながら歌おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>秋のイメージを膨らませながら、範唱を聴き、曲の感じをつかむ。</li> <li>CDの範唱に合わせてみんなで歌う。</li> <li>写真やビデオで秋のイメージを話し合う。</li> <li>柔らかな声で斉唱する。</li> </ul>	<p><b>関心・意欲・態度</b></p> <p>秋の美しい様子を思い浮かべ、柔らかい声でイメージに合った歌い方をすることができる。</p>	<p><b>つまずきの様相</b></p> <p>曲の感じをつかめず、関心を持って歌えない。</p> <p><b>評価</b></p> <p>活動の様子から。</p> <p><b>指導・援助</b></p> <p>秋のイメージを広げるために、歌詞の朗読や写真・ビデオを準備する。</p>
2	3フレーズ目の最初の二声の響きを味わい、後半にある副次的な旋律を正しく覚えて、音の重なりを味わいながら、部分二部合唱をすることができる。	<p>低音を覚えて、音の重なりを味わおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>副次的な旋律をCDから聴き取る。</li> <li>全員で副次的な旋律を覚える。</li> <li>中間研究会で仲間の演奏を聴きあう。(3フレーズ目の出だし)</li> <li>まとめの二部合唱する。</li> </ul>	<p><b>感受・表現の工夫</b></p> <p>旋律の動きに合わせて、イメージにあった歌い方ができる。3フレーズ目を意識して歌うことができる。</p>	<p><b>つまずきの様相</b></p> <p>副旋律を正しく歌えない。</p> <p><b>評価</b></p> <p>活動の様子から。</p> <p><b>指導・援助</b></p> <p>楽器の音で支えながら練習し、はじめの音だけ、援助なしと順番に何もなくても歌えるよう援助する。</p>
3	曲の盛り上がりを感じて、強弱を生かして合唱することができる。	<p>曲の山を感じて、表情豊かに二部合唱しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲の山を考えながら、範唱を聴く。</li> <li>中間研究会で仲間の演奏を聴きあう。(曲の山と強弱)</li> <li>まとめの二部合唱をする。</li> </ul>	<p><b>表現の技能</b></p> <p>二つの声が重なり合う響きのおもしろさを感じ取りながら、二部合唱することができる。</p>	<p><b>つまずきの様相</b></p> <p>曲の山を感じ取れない。</p> <p><b>評価</b></p> <p>活動の様子から。</p> <p><b>指導・援助</b></p> <p>楽譜の旋律線に着目させ、音の高さと曲の山がほぼ同じであることに気づかせる。</p>
4	自分のもみじのイメージを思い浮かべながら、歌い方を考えて二部合唱をすることができる。	<p>自分のイメージに合うように、美しい二部合唱をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二つの旋律の重なり方に着目させながら、CDを聴く。</li> <li>言葉の美しさを意識して、二部合唱する。</li> <li>ミニミニ発表会をする。</li> </ul>	<p><b>感受・表現の工夫</b></p> <p>柔らかい声で、言葉の美しさを意識した二部合唱をすることができる。</p>	<p><b>つまずきの様相</b></p> <p>発音がはっきりしない。</p> <p><b>評価</b></p> <p>活動の様子から。</p> <p><b>指導・援助</b></p> <p>リズムに合わせて歌詞を朗読し、自分で口形を確認させる。</p>
5	曲の感じをつかみ、拍子に乗って主旋律を斉唱することができる。	<p><b>おどろう楽しいポーレチケ</b></p> <p>踊りの様子を思い浮かべながら、主旋律を歌おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どんなときに使われる曲なのかを想像しながら、CDを聞く。</li> <li>伴奏に合わせて、歌詞唱や階名唱をする</li> <li>リズムに乗って主旋律を歌う。</li> </ul>	<p><b>関心・意欲・態度</b></p> <p>どんなときの曲か想像することができる。正しい音程で歌うことができる。</p>	<p><b>つまずきの様相</b></p> <p>言葉が多いため、音に歌詞をうまくのせられない。</p> <p><b>評価</b></p> <p>活動の様子から。</p> <p><b>指導・援助</b></p> <p>ゆっくりとしたテンポで歌わせる。拍をしっかりと合わせる。</p>
6	3拍子の感じをつかみ、歌ったり身体表現したりできる。	<p>3拍子のリズムに乗って歌ったり身体表現したりしよう。</p>	<p><b>感受・表現の工夫</b></p> <p>3拍子の特徴を感じ取って、歌うこ</p>	<p><b>つまずきの様相</b></p> <p>3拍子の特徴がつかめない。</p> <p><b>評価</b></p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>•主旋律を歌う。</li> <li>•3拍子の指揮の仕方を覚える。</li> <li>•手と足で身体表現する。</li> </ul>	とができる。仲間と楽しく身体表現できる。	活動の様子から。 [指導・援助] 3拍子を取りながら他の曲を聞かせ、意識を深める。
7	副次的な旋律を覚え、部分二部合唱をすることができる。	<p>副次的な旋律を覚え、二部合唱をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•副次的な旋律を聞き取りながら、CDを聴く。</li> <li>•範唱に合わせて覚える。</li> <li>•全員で二部合唱をする。</li> </ul>	[表現の技能] 互いの声を聴きあい、情景を思い浮かべながら二部合唱ができる。	[つまずきの様相] #やナチュラルの音程がしっかり取れない。 [評価] 活動の様子から。 [指導・援助] シャープやナチュラルの部分を取り出してゆっくり練習をする。シャープとナチュラルの意味を押さえる。
8 本時	歌詞に表されている人々や周囲の様子を思いうかべ、強弱や速度を工夫して歌ったり、3拍子のリズムに合わせて身体表現を楽しんだりすることができる。	<p>1~3番と4番の歌詞から工夫したいところを見つけて、ぴったり合う身体表現をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•歌詞から情景を想像して、気が付いたことを話し合う。</li> <li>•強弱や速度を変えて表現してみる。</li> <li>•中間研究会で仲間の良さを取り入れる</li> <li>•グループで工夫した表現を発表する。</li> </ul>	[感受・表現の工夫] 人々の動作を歌った1・2・3番と周囲の様子を歌った4番の違いを、強弱や速度を変えて表現したり、3拍子のリズムに合った身体表現をしたりすることができる。	[つまずきの様相] 工夫する内容がつかめない。 [評価] 話し合いの様子から。 [指導・援助] いくつかの手立てを示して、どんな表現をしたいか援助する。
9	まほう使いの弟子の物語のあらすじを知り、場面による音楽の違いや、楽器の響きや音色を味わうことができる。	<p>まほう使いの弟子</p> <p>楽器に響きや音色を味わって、場面による音楽の違いを聴き取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•物語のあらすじを知る。</li> <li>•各場面を映像と合わせて鑑賞する。</li> <li>•鑑賞したことを発表する。</li> </ul>	[鑑賞の能力] 場面の様子を豊かに想像しながら聴くことができる。	[つまずきの様相] あらすじがつかめず、曲の流れがイメージできない。 [評価] 活動の様子から。 [指導・援助] 実際に物語を読み聞かせ、イメージが膨らむよう援助する。
10	管弦楽の華やかな感じを聴き取り、楽器の演奏の仕方や音色の特徴をつかむことができる。	<p>演奏している楽器を想像しながら聴こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•音色の変化に気をつけながら、鑑賞する。</li> <li>•楽器を想像し話し合う。</li> <li>•ファンタジアを鑑賞する。</li> </ul>	[鑑賞の能力] いろいろな楽器の音色や重なり合う音の響きを味わうことができる。	[つまずきの様相] 演奏している楽器の種類がわからない。 [評価] 活動の様子から。 [指導・援助] 使われている楽器を掲示して選択できるよう援助する。
11	曲の感じや物語のあらすじをつかみ、旋律を覚えて歌うことができる。	<p>つるのおん返し</p> <p>場面の様子を思い浮かべながら、主旋律を歌おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•物語のあらすじを知る。</li> <li>•範唱を聴き曲の感じをつかむ。</li> <li>•旋律線の起伏を手で表しながら、階名唱をする。</li> </ul>	[関心・意欲・態度] 音楽で物語を表現することに興味を持ち、進んで活動することができる。	[つまずきの様相] 物語の場面と音楽が一致しない。 [評価] 活動の様子から。 [指導・援助] あらすじを読み聞かせる。音楽を聴くとき、場面の絵を示しながら聴かせる。
12	副次的な旋律や間奏をリコーダーで演奏し、楽器の音色を	<p>場面にぴったり合うように、副次的な旋律や間奏の音を工夫しよう。</p>	[感受・表現の工夫] 場面にふさわしい音色や表現の仕方	[つまずきの様相] 場面にふさわしい音を見つけることができない。

	工夫することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 範奏をから、副次的な旋律や間奏の旋律を聴き取る。</li> <li>• 旋律線の音高を確かめながら、階名唱をする。</li> <li>• 歌の情景に合う楽器を考え、グループで練習する。</li> </ul>	を工夫することができる。	<u>評価</u> 練習の様子から。 <u>指導・援助</u> 場面を洗い出してみる。どんな感じがするかを言葉にしてから取り組ませる。
13	歌・朗読・旋律・感想などの演奏順序を話し合い、構成を工夫して表現することができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分たちで工夫した音楽劇を楽しもう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>• グループの役割分担を確認する。</li> <li>• 発表の練習をする。</li> <li>• 発表会をし、意見交流をする。</li> </ul>	<u>関心・意欲・態度</u> 物語の流れを考えながら、友達と協力して表現をまとめようとする事ができる。	<u>つまずきの様相</u> 協力して演奏したり、友達の演奏の良さを見つけたりすることができない。 <u>評価</u> 活動の様子から。 <u>指導・援助</u> よさの観点をあらかじめ提示しておき、見つけやすいよう援助する。

\* 本時のはじめには、課題につながる既習曲を演奏する。

\* 中間研究会では、仲間の良さを自分の演奏に取り入れ、さらに高まろうとする姿や練習方法を取り入れようとする姿を価値付ける。